プラセンタ療法　同意書

ラエンネックおよびメルスモンは、ヒト胎盤（プラセンタ）より生理活性成分(細胞増殖因子、サイトカイン等)を抽出した医薬品で、以下の病気や症状の改善に使われます。

慢性疲労・肩こり・アンチエイジング・肝組織の修復・腰痛・更年期症状（のぼせ、冷え、不眠、イライラ感、頭痛）など

主な副作用は、注射部位の痛み、発疹、発熱、掻痒感、硬結などがあります。また非常に稀ですが、肝炎を発症したケースが報告されている為、健診等で定期的に血液検査で肝機能をチェックし、異常値が出た際はご連絡下さい。

※クロイツフェルトヤコブ病に対する安全性
昭和49年の発売開始以降、プラセンタ療法によるB型肝炎、C型肝炎、エイズ、クロイツフェルトヤコブ病などの感染報告はありませんが、クロイツフェルトヤコブ病に関し、理論的には伝播の危険性を完全には否定できない為、プラセンタ療法を一度でも受けた方は、献血をする事が出来ません。

以下の病気に感染している方は、病名を丸で囲んで下さい。

・肝炎　　・エイズ　　・梅毒　　・その他感染症（　　）

上記のプラセンタの作用・副作用および安全性について理解し、プラセンタ療法をうける事に同意します。

年　　月　　日

お名前

生年月日　大・昭・平　　年　　月　　日